

## 小学生とその保護者に向けた学習・体験イベント

## 「夏休み 2018 宿題・自由研究大作戦」東京・大阪・仙台で開催

新企画！ 小学館の学習雑誌『小学 8 年生』とのコラボで

自由研究コンテスト「第 1 回夏休み宿題・自由研究大作戦大賞」創設

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、小学生とその保護者に向けた学習・体験型イベント「夏休み 2018 宿題・自由研究大作戦」を、東京（7/26～28）・大阪（8/2～3）・仙台（8/9～10）の3会場で開催します。

このイベントは、“個人”“組織”“社会”の視点で新たな価値を創造する『KA I KA（カイカ）経営』を推進する日本能率協会が、将来の日本を担う子どもたちの育成を目的に 2015 年より開催しているもので、今年は、3 会場でのべ 121 の企業・団体および官公庁が、サポーターとして学習・体験プログラムを提供し、のべ 3 万人の来場を見込んでいます。

今年新たに、本イベントと連動し、小学館の学習雑誌『小学 8 年生』とコラボし、「第 1 回夏休み宿題・自由研究大作戦大賞」を創設します。

このコンテストでは、サポーター企業が提供する 7 つの「サポーター賞」が設けられています。本イベントでの学習・体験をはじめ、小学生のさまざまな“学び”から得られた気付きやアイデアを提案してもらい、企業活動に活かしていただくことをねらいとしています。

## [開催概要]夏休み2018宿題・自由研究大作戦

公式サイト >> <https://www.jma-wakuwaku.com/index.html>

## &lt;3会場共通&gt;

来場対象：小学生とその保護者

入場料：無料（Web事前登録が必要）※一部有料プログラムあり

## 東京会場／サポーター数：58

会期：2018年7月26日（木）～28日（土）各日9:00～16:00

会場：東京ビッグサイト 東7ホール

主催：一般社団法人日本能率協会

後援：東京都公立小学校長会

## 大阪会場／サポーター数：33

会期：2018年8月2日（木）・3日（金）各日9:00～16:00

会場：インテックス大阪 1号館

主催：一般社団法人日本能率協会

後援：大阪府小学校長会、大阪府立小学校長会

## 仙台会場／サポーター数：30

会期：2018年8月9日（木）・10日（金）各日9:00～16:00

会場：夢メッセ みやぎ

主催：一般社団法人日本能率協会 共催：一般財団法人みやぎ産業交流センター（夢メッセ みやぎ）

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会



## [サポーター企業・団体]夏休み2018宿題・自由研究大作戦

### 東京会場

アトミクス、伊藤園、エス・ワイ・エス、オリンパス、海上保安庁 東京海上保安部、九州屋、共立食品、キリン・トロピカーナ、クラシエフーズ、警視庁、ケー・エフ・シー、コニシ、小屋女子DIYカフェ、コープみらい、サンギ、島津製作所、香老舗 松栄堂、小学館『小学8年生』、消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、JS日本総合住生活、じほう、ジャパンフリトレー(マイクポップコーン)、世界の医療団、第一屋製パン、ダスキン、東京個別指導学院 ベネッセサイエンス教室、東京消防庁、東京税関、TEPCO×CaSy、東洋大学、トヨタL&F、日本工営、日本能率協会、日本能率協会マネジメントセンター(JMAM)、ネスレ日本(ネスカフェ ドルチェ グスト)、バンダイ、パルシステム生活協同組合連合会、日野自動車、富士通オープンカレッジ F@IT Kids Club、法務省 人権擁護局、マクセルホールディングス、マルコメ、ミューハンディー、ムラヤマ、メガハウス、森永乳業、ヤマハミュージックジャパン、ユーピーアール、ライオン／(わくわく教室のみ)J-オイルミルズ、ダイエー、大日本水産会／(地域の魅力発見コーナー)東京都中央卸売市場

### 大阪会場

伊藤園、大阪海上保安監部、大阪科学技術館、大阪市消防局、大阪税関・神戸税関、キリン・トロピカーナ、クラシエフーズ、ケー・エフ・シー、国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所、小屋女子DIYカフェ、コープの宅配、SAPIX小学部、サンギ、香老舗 松栄堂、小学館『小学8年生』、消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、日東精工、日本細菌検査、ネスレ日本(ネスカフェ ドルチェ グスト)、バンダイ、ほけんのぜんぶ、マクセルホールディングス、マリンフード、森永乳業、ヤマハミュージックジャパン／(わくわく教室のみ)関西光科学研究所、ダイエー、大日本水産会(地域の魅力発見コーナー)高知県、美作市

### 仙台会場

伊藤園、NTT、オリンパス、海上保安庁 第二管区海上保安本部、キリン・トロピカーナ、国土交通省 東北地方整備局、小屋女子DIYカフェ、三幸学園、香老舗 松栄堂、小学館『小学8年生』消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、JAグループ宮城「県産県消」推進協議会、JA全農みやぎ、仙台市消防局、仙台東警察署、東北電力、日本非破壊検査協会、ネスレ日本(ネスカフェ ドルチェ グスト)、フォレストホームサービス、松島蒲鉾本舗、宮城県建設業協会、みやぎ生協、夢メッセみやぎ、宮城県 農林水産部 水産振興課、ユーメディア、横浜税関 仙台塩釜税関支署／(わくわく教室のみ)水守の郷・セヶ宿

### 各サポーターが提供するプログラム詳細は

公式サイト <https://www.jma-wakuwaku.com/index.html> をご覧ください。

### 取材に際してのお願い

#### ◆報道機関の皆さまの取材をお待ちしております◆

**テレビ・ラジオ媒体の方は、必ず事前に、広報担当までご連絡をお願いします。**

**ご連絡先：03-3434-8620または080-3201-4599(斎藤宛)、E-mail: jmapr@jma.or.jp**

取材をご希望の報道関係者(紙・web)は、取材当日事務局までお越しください。

事務局でのプレス受付後、会場に入場できる「PRESSバッジ」を発行します。

※取材に際しては、来場する保護者の了承のもと、行っていただきますよう、お願いいたします。

## **[今年のイチオシ！] 第1回夏休み2018宿題・自由研究大作戦大賞**

●主 催：小学館の学習雑誌『小学8年生』、日本能率協会

●ねらい：「夏休み宿題・自由研究大作戦」をはじめ、夏休みに体験するさまざまな“学び”を“カタチ”にすることを通じ、小学生の創造力の開拓とチャレンジ精神醸成を支援します。同時に、サポーター企業にとっては、独創性あふれる小学生のアイデアを企業活動へ活かす効果が期待されます。

●賞の種類およびテーマ：

**大賞**（1名）：全応募作品の中から選出

賞 品：図書券10万円＋副賞

**サポーター賞**（各1名）：各サポーター賞に応募した作品の中から選出

賞 品：図書券1万円＋副賞

・小学館の図鑑賞（提供：タカラトミー）

テーマ：生き物、乗りものなど、独自の「○○図鑑」をつくろう

・小学館×Pepperプログラミング賞（提供：ソフトバンク）

テーマ：「○○で働くPepper」。夏休みに限定公開する[Robo Blocks]を活用したプログラミングを考えよう

・バンダイ エコ賞（提供：バンダイ）

テーマ：捨てちゃうものを捨てずに楽しいおもちゃを作ろう

・アトムハウスペイント賞（提供：アトムクス）

テーマ：チャレンジ！ カラフルリメイク（工作・絵）

・メガハウス賞（提供：メガハウス）

テーマ：最強のトントン相撲力士を作ろう

・トヨタL&F賞（提供：トヨタL&F）

テーマ：未来のフォークリフトを考えよう

・富士通ラーニングメディア賞（提供：富士通ラーニングメディア）

テーマ：プログラミングでかなえるミライ

**努力賞**（50名）：1次審査通過作品から選出

賞 品：図書券1000円分

●応募資格：全国の小学1年生から小学6年生

●応募期間：2018年7月12日（木）～2018年9月20日（木）必着

●審査方法：作品は独創性を重視

1次審査：『小学8年生』編集部による（9月下旬）

最終審査：『小学8年生』編集長、日本能率協会代表者、サポーター企業各社代表者による（10月上旬）

●発 表：小学館本社にて、10月末に大賞受賞者の表彰式・賞品授与式を実施（予定）

2018年11月15日ごろ発売予定『小学8年生』冬号誌上にて発表

## [ご参考] 企業人600人に聞いた「企業の小学生に向けた取り組み意識」アンケート速報！

### 学校の勉強以外で小学生の頃にやっておいた方がよいこと 「友だちと遊ぶ」「自然・生物と触れ合う」が2トップに 企業が小学生に向けて活動する目的は「地域・社会貢献」「将来のファンづくり」

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、昨今多くの企業で、「出前授業」「理科実験教室」「自由研究サポート」「職場見学」など、子どもの“未来”に関わる活動が行われていることを受け、小学生に向けた企業の取り組みや、小学生に対する企業人の意識について、アンケート調査を実施しました。

#### アンケート概要

期間：2018年6月18日（月）～7月4日（水）

対象：日本能率協会会員企業、夏休み宿題・自由研究大作戦サポーター企業、日本能率協会の展示会に出展来場企業のうち主に営業、マーケティング、管理部門を抽出

アンケート方法：インターネット調査

回答数：625人

【属性】 **性別** 男性：459人（73.4%）、女性：166人（26.6%）

**業種** 製造業：250人（40.0%）、非製造業：375人（60.0%）

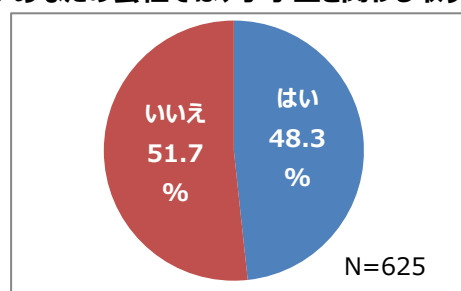
**所属部門** 営業：119人（19.0%）、マーケティング・宣伝：118人（18.9%）、経営企画：89人（14.2%）、総務・人事・経理：77人（12.3%）、研究・開発：58人（9.3%）、CSR：23人（3.7%）、生産・技術：15人（2.4%）、広報：12人（2.0%）、その他：114人（18.2%）

**勤務先従業員数** 10,000人以上：82人（13.1%）、3,000～10,000人未満：94人（15.0%）、1,000～3,000人未満：84人（13.4%）、300～1,000人未満：124人（19.8%）、100～300人未満：91人（14.6%）、100人未満：150人（24.0%）

※回答は少数点第2位を四捨五入

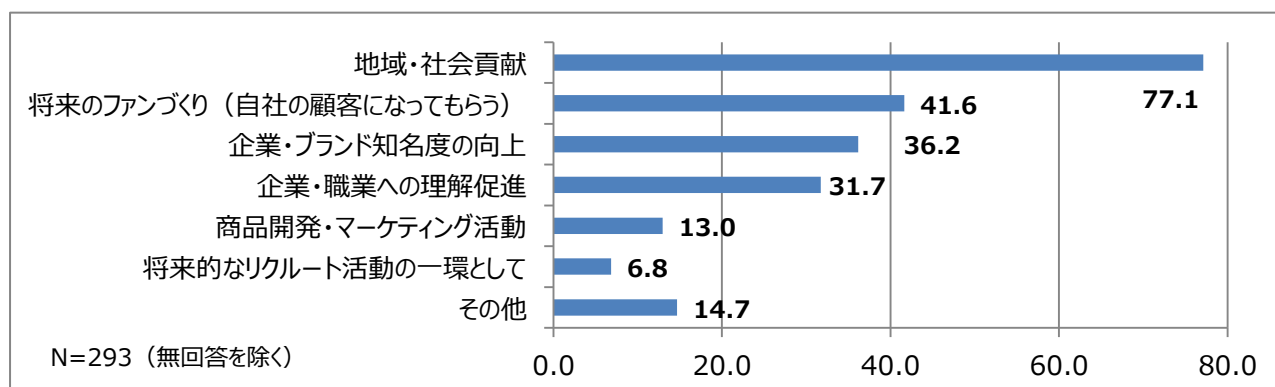
## アンケート結果

### ◆あなたの会社では、小学生と関わる取り組みをされていますか。（1つだけ選択）

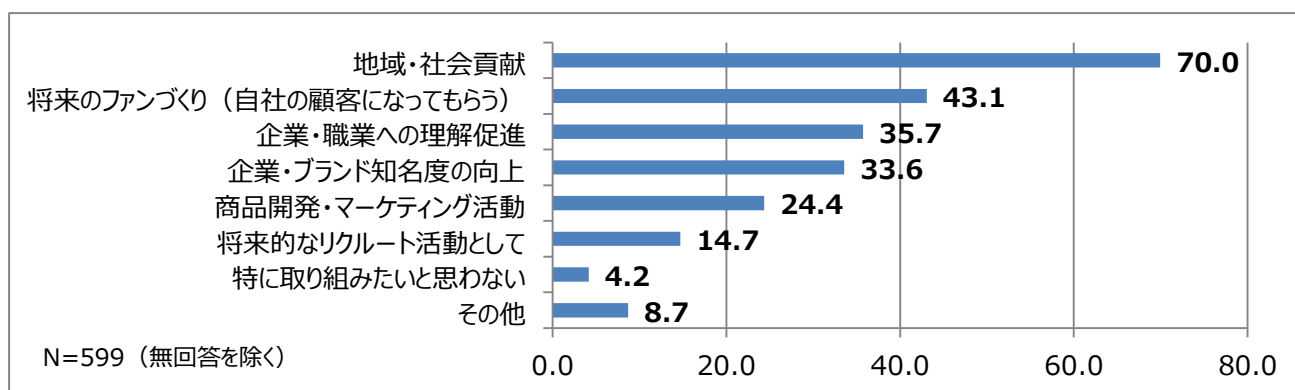


「勤務先の企業が小学生と関わる取り組みをしている」と回答した人は48.3%と、約半数にのびりました。

### ◆【「はい」と回答した方のみ】あなたの会社では、どのような目的で小学生と関わる取り組みをされていますか。（あてはまるものをすべて選択）



◆あなたの会社で【今後】小学生と関わる取り組みを行うとしたら、どのような目的で行うのがよいと思いますか。あなた個人の意見をお聞かせください。（あてはまるものをすべて選択）

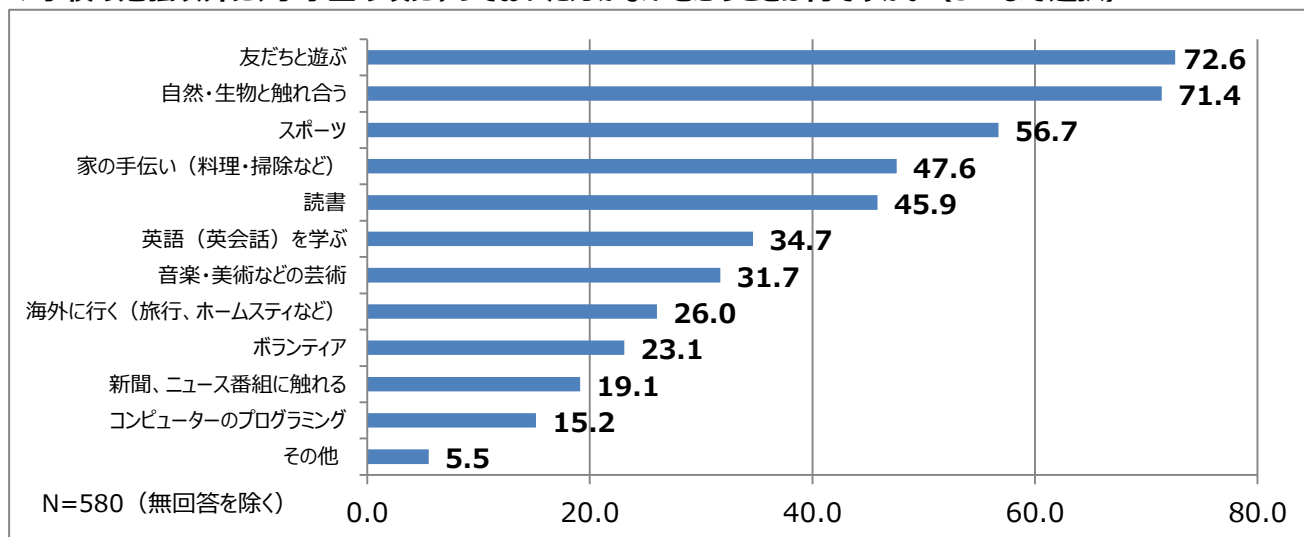


現在、勤務先の企業が小学生に向けた取り組みを「行っている」と回答した人に、どのような目的で行っているか聞いたところ、「地域・社会貢献」が 77.1%と最多で、ついで「将来のファンづくり（自社の顧客になってもらう）」（41.6%）、「企業・ブランド知名度の向上」（36.2%）と続きました。

今後、行うとしたらどのような目的がよいか聞いたところ、同様に「地域・社会貢献」が 70.0%と最多で、「将来のファンづくり（自社の顧客になってもらう）」（43.1%）、「企業・職業への理解促進」（35.7%）と続きました。

特徴的な変化として【現在】と【今後】で比較すると「商品開発・マーケティング」（11.4 ポイント増）「将来的なリクルート」（7.9 ポイント増）とそれぞれ増えています。子ども達との関わり合いの中で実益を伴った活動も視野に入れた展開が、これから増えることが想定されます。

◆学校の勉強以外に、小学生の頃にやっておいた方がよいと思うことは何ですか。（5 つまで選択）

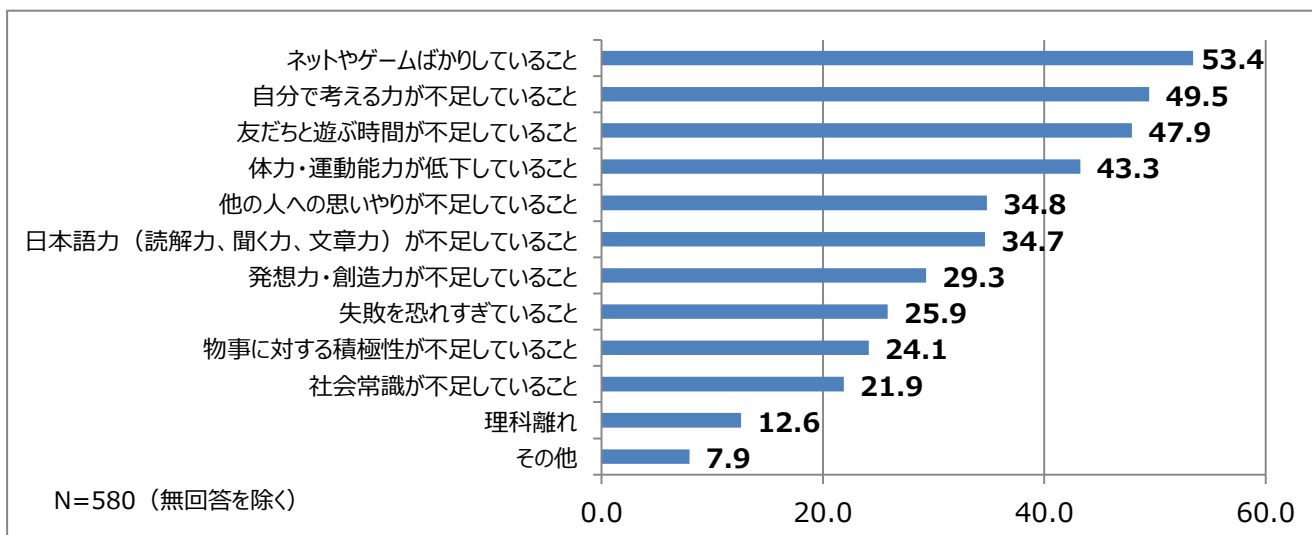


学校の勉強以外に、小学生の頃にやっておいたほうがよいと思うことを聞いたところ、「友達と遊ぶ」（72.6%）、自然・生物と触れ合う」（71.4%）となり、ともに 7 割を超えました。次いで、「スポーツ」（56.7%）、「家の手伝い（料理・掃除など）」（47.6%）、「読書」（45.9%）と続きました。

企業人にとっては、多くの子どもが習い事として学んでいる「英語」「音楽・美術などの芸術」「プログラミング」以上に、まずは「遊び」や「自然・生物との触れ合い」を重視していることがうかがえます。



◆企業人として、いまの小学生に対して心配なことは何ですか。（5 つまで選択）



いまの小学生に対して心配なことを聞いたところ「ネットやゲームばかりしていること」（53.4%）で最多となり、次いで「自分で考える力が不足していること」（49.5%）、「友だちと遊ぶ時間が不足していること」（47.9%）「体力・運動能力が低下していること」（43.3%）と続きました。

企業人は、現代の子どもたちが、ネットやゲームに時間をとられ、友だちと遊んだり、体を動かしたりする時間が不足していることを心配しているようです。

◆あなたが小学生時代に行った自由研究で、一番印象に残っているものは何ですか。（自由回答）

小学生時代に行った自由研究（票数：323）

|      |                 |      |                                                   |
|------|-----------------|------|---------------------------------------------------|
| 1 位  | 昆虫観察・飼育         | 52 票 | 蟻、カイコ、カブトムシ、クワガタ、鈴虫、セミ、ダニ、ボウフラ、蛍 など               |
| 2 位  | 歴史・地域・職業・交通（社会） | 49 票 | 地域の歴史、城・史跡、地図製作、方言、公害、地域の産業<br>身近な職業、交通（道路・鉄道） など |
| 3 位  | 工作              | 41 票 | 貯金箱、木工、紙すき、缶・瓶・ペットボトルを使った工作<br>トランジスタラジオ制作 など     |
| 4 位  | 植物観察・栽培         | 32 票 | あさがお、ひまわり、水草、稲、サツマイモ、種子、果物                        |
| 5 位  | サイエンス（実験）       | 31 票 | リトマス紙、塩の結晶、でんぷん、電池、色に関する実験 など                     |
| 6 位  | 動物観察・飼育         | 25 票 | カエル、カメ、魚 など                                       |
| 7 位  | 宇宙や星            | 17 票 | 宇宙、太陽、星座 など                                       |
| 8 位  | 旅行              | 16 票 | 家族旅行、林間学校、ボーイスカウトキャンプ、海外旅行                        |
| 9 位  | 海や川の生態          | 12 票 | 貝殻採取、塩作り、生態しらべ                                    |
| 10 位 | 気象              | 6 票  | 台風、天気、雲                                           |

その他、読書 3 票、日記 2 票、料理・食品 2 票 など

企業人に小学生時代に行った自由研究を自由回答で聞いたところ、323 人より回答がありました。もっとも多かったのは「昆虫」に関することで、52 票、次いで「歴史や社会」に関すること（49 票）、「工作」（41 票）と続きました。具体的な記述からみると、身近な生物、植物、材料、地域などをうまく活用して行ったことがうかがえます。

◆あなたがいま、自由研究をしたら何をしますか。（自由回答）

いま自由研究をしたら？ 票数：365

|    |           |     |                              |
|----|-----------|-----|------------------------------|
| 1位 | 人間について    | 37票 | 人間観察、人間行動、幸せ、コミュニケーションなど     |
| 2位 | 生物・動物・昆虫  | 34票 | 動物の飼育、生態、昆虫採取など              |
| 3位 | 地域・歴史     | 28票 | 地域の歴史、町の地図、地域活性、歴史上の人物、建築物など |
| 4位 | サイエンス（実験） | 21票 | 発酵、化学実験、モーター、温泉、電気自動車など      |
| 5位 | プログラミング   | 19票 |                              |
| 6位 | 食・料理      | 16票 | 食育、食品安全、食文化、料理、外食比べなど        |
| 7位 | 植物・農業     | 15票 | 野菜栽培、ミニ農園、植物採取・観察など          |
| 8位 | 社会問題      | 14票 | 高齢化、人口問題、介護など                |
| 9位 | 文化        | 13票 | 日本文化、伝統芸能、海外との文化比較など         |
| 9位 | AI・ロボット   | 13票 |                              |
| 9位 | 宇宙・星      | 13票 | 天体観測、星座、ロケットなど               |

その他、自然（自然観察、自然との触れ合い）12票、気象（天気・地震）12票、経済・経営9票、旅行6票、環境問題6票、スポーツ・健康6票 など

企業人にいま自由研究をしたら何をするかについて自由回答で聞いたところ、人間観察、人間行動といった「人間」に関する回答が37票と最多となりました。次いで、生物・動物・昆虫に関すること（34票）、地域・歴史に関すること（28票）と続きました。

「人間」テーマは、日々仕事の中で人間関係に四苦八苦している企業人ならではの“大人の自由研究”といえそうです。

コメント：夏休み宿題・自由研究大作戦 事務局 久武克年

夏休みに数多く行われる企業の「理科実験教室」「工場見学」「工作教室」。小学生に向けたこうした活動は、企業人からみると「地域・社会貢献」という意識がもっとも高いことがわかりました。また、将来についても、小学生に向けた活動に対し前向きであると共に、より実益を伴った形にて展開されることが予想されます。

企業の社会的責任が重視される現代の経営において、「小学生（子ども）の育成」をキーワードにした企業価値の創造と結びついた活動は、今後さらに広がりを見せていくのではないのでしょうか。

一方、現代の小学生に対しては、外で体を動かして友だちと遊んだり、自然・生物と触れ合う機会が少なくなっているのではないかと懸念している様子がみられます。企業が「友達と遊ぶ」ことを推奨したい理由としては子ども達にコミュニケーション能力を培って欲しいと強く望んでいる結果と考えております。同じように企業人たちの自由研究のテーマとして「人間観察」がトップに挙げられていることも、企業人がコミュニケーション能力に興味・関心がとても高いことを示している結果だと思われる。

普段は塾や習い事で忙しい毎日を送っている小学生も、少し時間に余裕ができる夏休みだからこそ、友だちや自然・生物と関わる時間を大事にし、人・自然とコミュニケーションし自身で考えることで、さまざまな気づきを得てほしいものです。

また、企業の皆さまには、小学生とのコミュニケーションを取っていただく場を積極的に増やしていただきたいと思います。

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室（担当：斎藤）

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL：03-3434-8620 または 080-3201-4599 E-mail：[jmapr@jma.or.jp](mailto:jmapr@jma.or.jp)